

安全保障戦略研究

第4巻 第1号 2023年12月

目次

安全保障課題の展開

「冷戦2.0」と軍備管理	1
	一政 祐行
中国が目指す非接触型「情報化戦争」	21
——物理領域・サイバー領域・認知領域を横断した「戦わずして勝つ」戦い——	荆 元宙
	五十嵐 隆幸

安全保障政策の模索

航空自衛隊における救難組織の創設経緯	43
——急がれた部隊建設——	村上 強一
ドイツ連邦軍域外派遣に関する政策転換の要因	59
——UNTAC派遣を焦点に——	小橋 史行
1980年代のアメリカ陸軍指揮幕僚大学における教育改革	83
——学究と思索を重視する教育への変革はどのように成し遂げられたのか——	木下 幸祐
【研究ノート】ロシアのウクライナ侵攻はなぜ経済制裁では止められないのか	97
——戦略論から見た駆け引きのツールとしての経済制裁の機能分析——	山本 哲史

軍事史の再検討

アメリカによる広島・長崎への核兵器使用再考	115
——目的と効果のレベルからのアプローチ——	千々和 泰明
日本海軍における海軍大学校の教育改革とその成果の継続	133
——「軍政学」の観点から——	山口 昌也
「邀撃帯」構想と島嶼守備	149
——日本陸軍の「海上機動反撃」構想を中心に——	福本 正樹
戦史の編さんに関する一考察	171
——防衛研修所戦史室『戦史叢書』編さんのための史料収集を中心に——	齋藤 達志
	尾上 盛太郎